

SUBSCR
IPTION

サブスク
レポート
FY2023

株式会社ROBOT PAYMENT

REPORT

目次

01.	はじめに	—————	P.02
02.	エグゼクティブサマリ	—————	P.03
03.	市場規模	—————	P.04
04.	事業者数	—————	P.05
05.	売上高／事業者数	—————	P.07
06.	決済件数／事業者数	—————	P.09
07.	売上高／決済件数	—————	P.11
08.	政府の後押し	—————	P.13
09.	参考資料・算出手法	—————	P.14
10.	資料の利用案内	—————	P.16
11.	Appendix	—————	P.17

01. はじめに

■ サブスクリプションが示すビジネス環境の変化

当社は「サブスクするならロボペイで」というメッセージを掲げ、サブスク事業者をサポートするサービスを提供しています。

サブスクリプションモデルが一般的に認知される前から「定期継続課金」に強みを持つプロダクトを提供しており、累計14,000社以上にわたるサブスク事業者の決済の自動化や顧客管理を通じて、事業拡大に寄与してまいりました。

近年、物流の発展やデジタルテクノロジーの急速な普及など、環境の変化が「モノ消費」から「コト消費」への移行を促進してきました。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響もあり、世界中で消費行動に顕著な変化が生じました。

こうした環境変化は、多くの企業にとってビジネスモデルの転換の機会となりました。これにより、従来のビジネスアプローチから脱却し、顧客との新たな関係構築を模索する企業が増加しています。その中でも、サブスクリプションモデルを導入する企業が急増しました。サブスクリプションモデルは、定期的な収益を確保するための手段として、VUCA（不確実性の高い環境）における持続的な収益の安定化に貢献しています。

本レポートは、当社が提供するサブスクリプション事業者向けサービスにおいて、累計14,000社以上の決済に関するデータと知見を活用し、2019年から2022年までの顧客利用動向を分析し、サブスクリプション市場について考察しました。

本レポートの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎず、将来の結果を保証するものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。

02. エグゼクティブサマリ

■ 環境変化に対応することで成長し続けるサブスクリプション

現在、様々な業界において大きな変革が起こっています。音楽やメディア業界では、SpotifyやNetflixなどのストリーミングサービスにより、従来の形式を置き換え、ソフトウェア業界でもSaaSモデルの浸透により、パッケージ販売モデルが衰退の兆しを見せています。また、自動車メーカーも所有からモビリティサービスへの転換を模索しています。

こうした流れの中、サブスクリプションサービス市場は持続的な成長を遂げています。新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の影響は限定的であり、個人消費の回復によりサブスクリプション市場のポテンシャルが高まっています。

市場の成長に伴い、サブスクリプション事業者数も増加しており、医療・介護、スポーツ・フィットネス、教育・学習塾などの分野での拡大は、健康への関心や教育環境の変化を示しています。

売上高／事業者は一時的にCOVID-19の影響を受けましたが、直近では回復・成長傾向にあり、他の業種に比べても高いパフォーマンスを維持しています。特に医療・介護分野は拡大傾向にあります。食品・飲食店も外出自粛からのEC需要増加により拡大していますが、スポーツ・フィットネスは一部で低迷しており、事業環境の変化が見られます。

決済件数／事業者はCOVID-19の影響が限定的で、右肩上がりの成長が続いています。従来のサブスクリプションサービスや食品・飲食店が成長していますが、スポーツ・フィットネスは外出制約の影響で減少しており、消費者の需要変化が示されています。

決済単価／事業者は一時的にCOVID-19の影響を受けましたが、緩やかな拡大が見られます。価格引き下げや割引が行われる一方、医療・介護や代行・仲介サービス分野では価格転嫁による成長が見られます。スポーツ・フィットネスは価格転嫁にもかかわらず低迷しており、変革を迫られています。

総合的に考えると、サブスクリプション型のビジネスモデルは変化する環境においても成長を続ける可能性が高いと言えます。業界のトレンドや消費者のニーズ変化に対応する柔軟性を持つことが重要であり、サブスクリプションモデルの優位性を最大限に引き出すための戦略が求められるということがわかってきました。

03. 市場規模

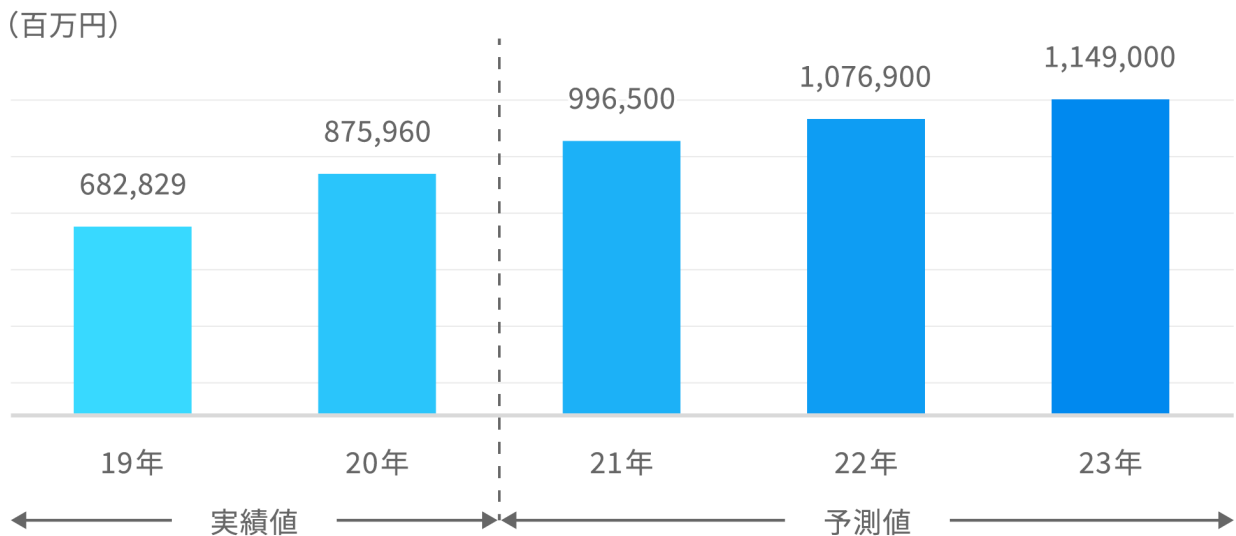
■ サブスクリプションサービス市場は右肩上がりに伸長

矢野経済研究所試算によると、サブスクリプションサービス市場規模は継続的に成長するものと推計されています。

直近COVID-19の影響により、一時的に成長が鈍化しているものの、これを機に誕生する新しいオンラインビジネスや新たなEC利用者層も加わり、それに伴うEC化率の上昇も見込まれており、競争環境が激しい一方で新たな市場の創出が期待されています。
(表1)

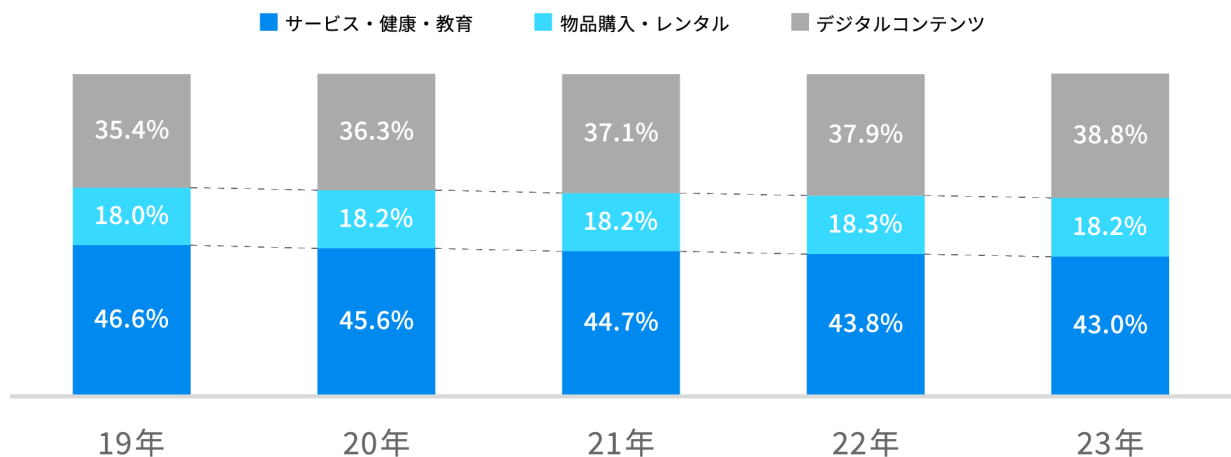
売上高の内訳としてはサービスが大半を占める中、デジタルコンテンツが着実な拡大を示していることが消費行動の緩やかな変化を示唆しています。(表2)

サブスクリプションサービス市場の推移 (表 1)



出典：株式会社矢野経済研究所「サブスクリプションサービス市場に関する調査を実施（2022年）」を基に作成

業種別市場規模の構成比 (表 2)



出典：株式会社ICT総研「サブスクリプションサービス市場規模の推移」を基に作成

業種の内訳例（※一部名称加筆）は以下の通りです

- サービス：スポーツジム、ファッション、美容、飲食店、教育、ソフトウェア、など
- 物品購入・レンタル：各種物品や飲食物の定期購入、カーシェア、自動車等の定期利用、など
- デジタルコンテンツ：音楽配信、動画配信、電子書籍、デジタルニュース、など

04. 事業者数

■ サブスクリプション事業者数は業態問わず拡大傾向

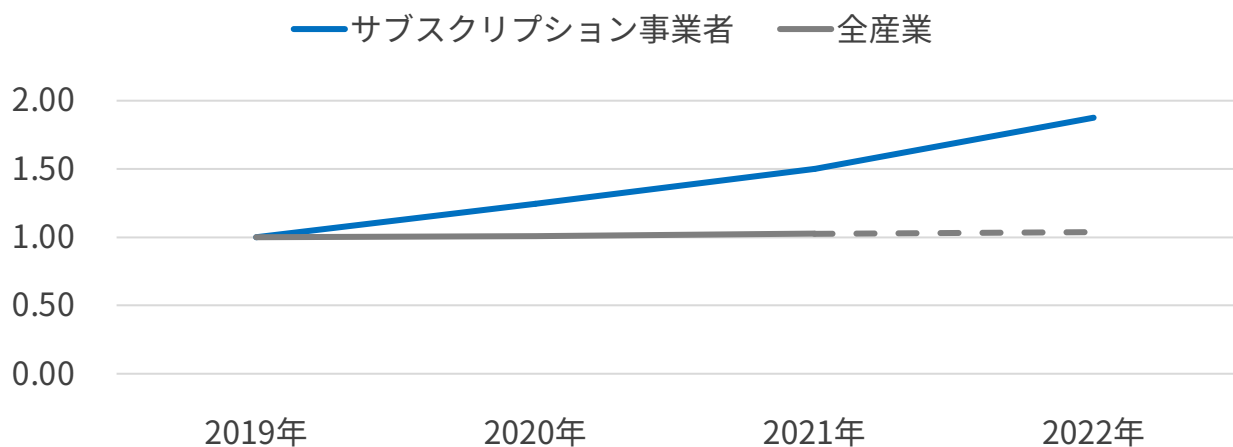
私たちの生活はテクノロジーによって下支えされており、このテクノロジーは決済手段に対しても変革を後押しすると同時にビジネスモデルに対しても加速度的な変化をもたらしています。

周知の通り、サブスクリプションを取り入れた企業は、生活変化に確実に対応し、成長が停滞する日本においても継続的な拡大を行ってきました。

サブスクリプション事業者は、2019年を起点とすると2倍近くまで拡大しており、この傾向は顧客分類に基づく業態（BtoC／BtoB）問わず類似した傾向となっています。

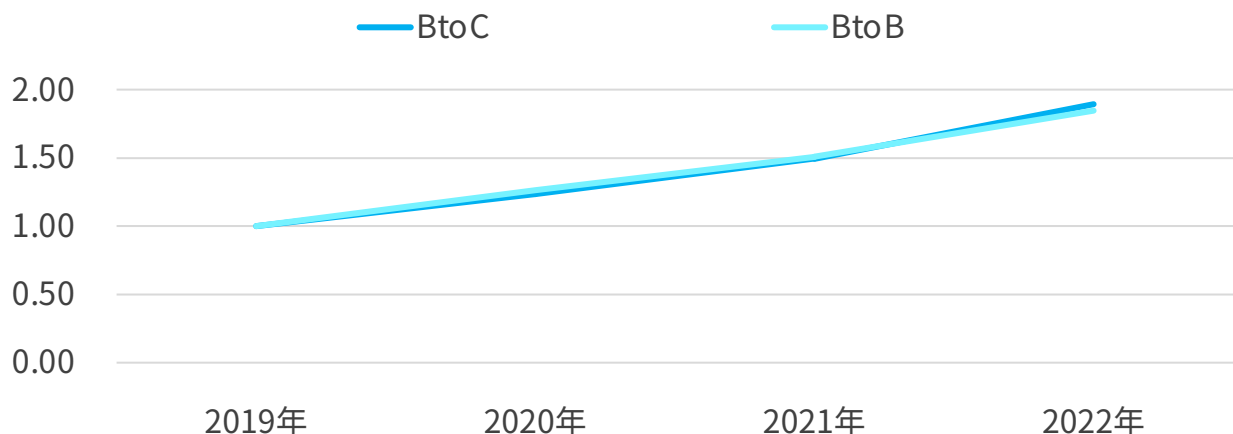
（表3、4）

サブスクリプション事業者と全産業の事業者*1の
事業者数の指数変化（表3）



出典：経済産業省「企業活動基本調査」、ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

BtoC／BtoB別のサブスクリプション事業者数の指数変化*2（表4）



出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*1 2022年数値については、経済産業省「企業活動基本調査」19年～21年実績に対するCAGRに基づく予測値にて集計

*2 ROBOT PAYMENTのサブスクリプション事業者向けサービスを提供している顧客の内、明確にBtoC、BtoBを判別できる事業者
に限定し集計

04. 事業者数

COVID-19の影響を受け業種ごとの拡大状況に差異

2020年初頭に顕在化したCOVID-19により、各業種は変化を余儀なくされました。外出自粛による生活への影響だけでなく、消費活動にも大きな変化が起こり、現在も継続しています。

業種別のサブスクリプション事業者数の変化としては、人々の健康に関する関心の高まりから"医療・介護"や"スポーツ・フィットネス"における事業者数の増加や、勤務環境・学習環境の変化に伴い、"教育・学習塾"によるオンライン提供が加わっています。一方で、外出自粛に伴って"アパレル"や"書籍・DVD・CD"の減少など下降トレンド入りしている業種も存在していることがわかります。

(表5)

業種別サブスクリプション事業者数の推移 (表5)

	業種分類 *	対 19 年比 22 年指数
指数 上位	医療・介護	2.80
	スポーツ・フィットネス	2.10
	教育・学習塾	1.99
	HP 制作費・保守管理費	1.86
指数 下位	工具・機械類	0.98
	書籍・DVD・CD	0.92
	募金・寄付	0.96
	アパレル	0.77

出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*各業種分類の内訳は以下の通り

- ・医療・介護：医療機関、介護施設、整体・整骨院など
- ・スポーツ・フィットネス：トレーニングジム、各種スポーツクラブなど
- ・教育・学習塾：学習塾、語学教室、e-ラーニングスクール、学校法人など
- ・HP制作・保守管理：サイト制作、サイト改修・保守、SEO対策など
- ・工具・機械類：家電、AV機器、住宅資材・家財、自動車用品など
- ・書籍・DVD・CD：書籍通販、DVD・CDレンタルなど
- ・募金・寄付：NPO・非営利団体、基金・募金、社会福祉法人など
- ・アパレル：服飾通販、衣装製作、洋服レンタルなど

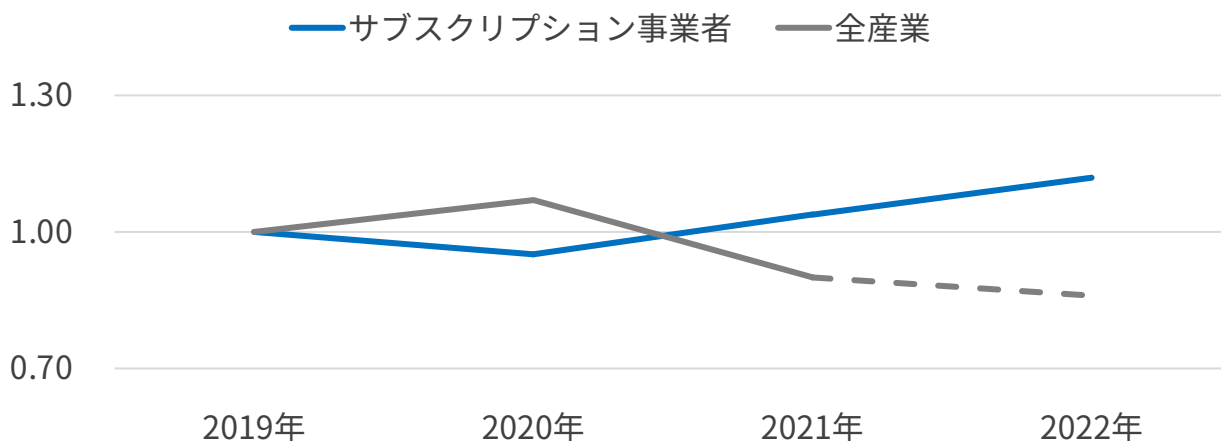
05. 売上高／事業者数

■ 事業者当たりの売上高においてはBtoC事業者がけん引

全産業の事業者当たりの売上高は微減傾向であることに對し、サブスクリプション事業者は事業者当たりの売上高を2019年比1.20まで回復させています。（表6）

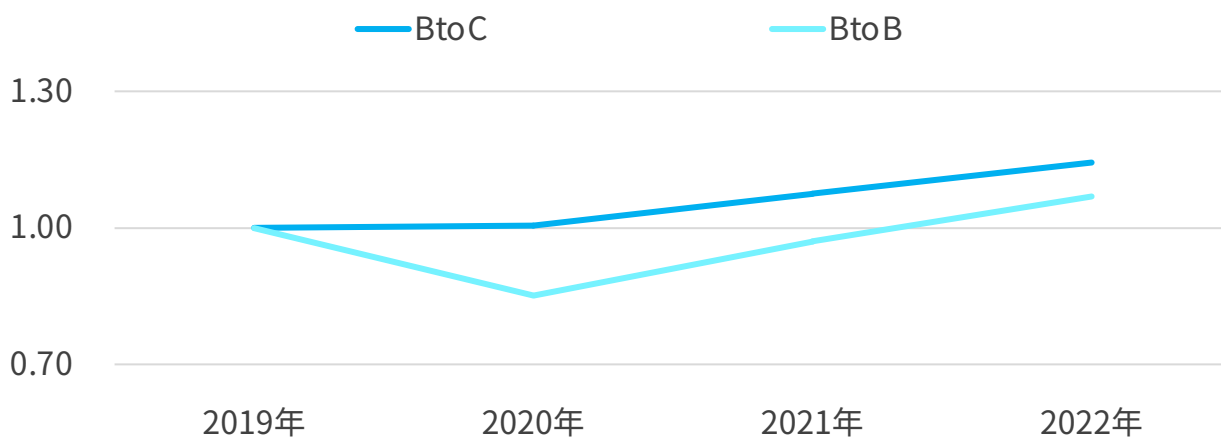
業態の内訳をみると、BtoC事業者がCOVID-19の影響を抑えながら拡大していることに對し、BtoB事業者においては2020年で大幅に売上が減少。2022年においては回復の兆しを見せています。（表7）

サブスクリプション事業者と全産業*1の
売上高／事業者の指数変化（表6）



出典：経済産業省「企業活動基本調査」、ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

BtoC／BtoB別のサブスクリプション事業者の
売上高／事業者の指数変化*2（表7）



出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*1 2022年数値については、経済産業省「企業活動基本調査」19年～21年実績に対するCAGRに基づく予測値にて集計

*2 ROBOT PAYMENTのサブスクリプション事業者向けサービスを提供している顧客の内、明確にBtoC、BtoBを判別できる事業者に限定し集計

05. 売上高／事業者数

■ 業種別事業者当たりの売上高はCOVID-19による影響が顕著

サブスクリプション事業者当たりの売上高においては、COVID-19をはじめとした環境変化や時流に伴って市場全体が拡大あるいは縮小していった業種と、業界再編や外部変化によりサバイバルを強いられている業種があることを示しています。

特に生活必需品である"アパレル"や、直近回復が予想されている"旅行・宿泊"などについては今後の回復が見込まれることから、2023年以降における上昇に期待感が高まります。（表8）

サブスクリプション業種別売上高／事業者の推移（表8）

	業種分類*	対19年比 22年指数
指数上位	医療・介護	4.06
	食品・飲食店	3.40
	生活サービス	3.27
	各種レンタルサービス	2.46
指数下位	アパレル	1.00
	旅行・宿泊	0.63
	スポーツ・フィットネス	0.78
	HP制作・保守管理	0.49

出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*各業種分類の内訳は以下の通り

- ・医療・介護：医療機関、介護施設、整体・整骨院など
- ・食品・飲食店：飲食店、テイクアウト専門食品販売、食品通信販売など
- ・生活サービス：家事代行、クリーニング、冠婚葬祭、光回線など
- ・各種レンタルサービス：Wi-Fiレンタル、レンタカー、ウォーターサーバーなど
- ・スポーツ・フィットネス：トレーニングジム、各種スポーツクラブなど
- ・アパレル：服飾通販、衣装製作、洋服レンタルなど
- ・旅行・宿泊：旅行代理店、宿泊施設、ドミトリーなど
- ・HP制作・保守管理：サイト制作、サイト改修・保守、SEO対策など

06. 決済件数／事業者数

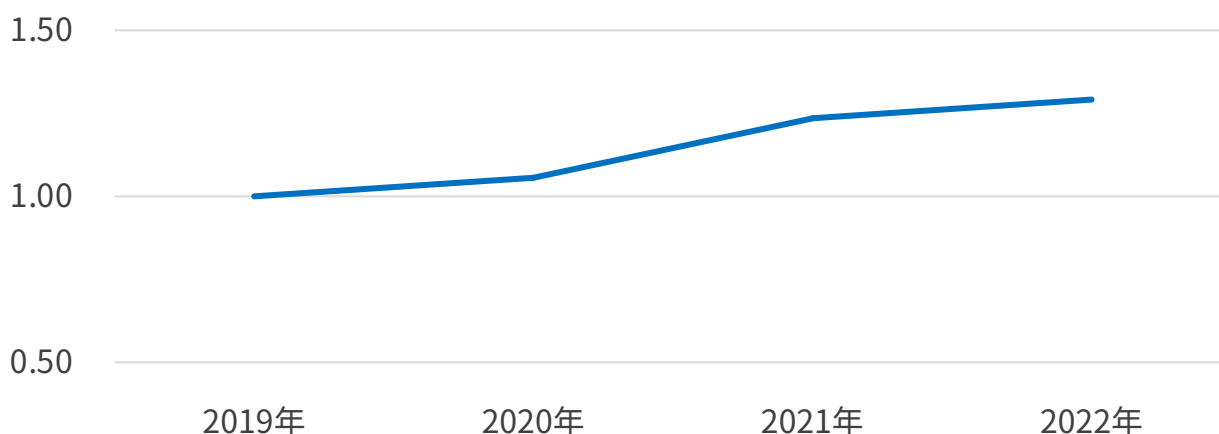
■ 事業者当たり決済件数はBtoCとBtoBで傾向に差

サブスクリプション事業者全体での決済件数は2019年を起点として右肩上がりでの拡大傾向を示しています。（表9）

これはサブスクリプションサービス利用者が決済している数が増えていることを示しているため、サブスクリプションサービスへの定着が進んでいることを示唆しています。一方で、BtoCとBtoBで分けると傾向に差異が生じており、BtoC事業者の拡大に対してBtoB事業者は緩やかな下降を示しています。（表10）

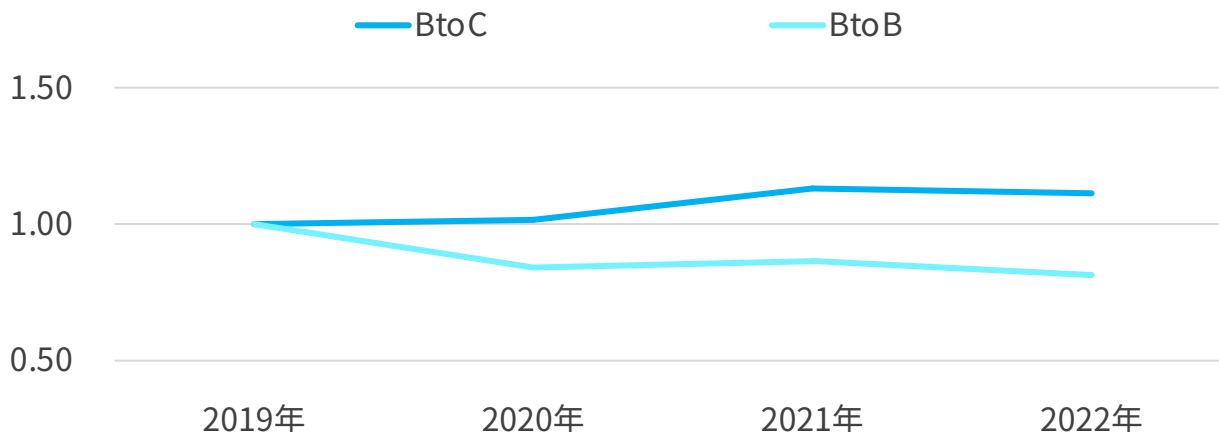
本集計においてはBtoCあるいはBtoBを明確に区分できる事業者に限定した集計を行っているため、その他の事業者においてけん引されているものと考えています。

サブスクリプション事業者の
決済件数/事業者数の指数変化（表9）



出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

BtoC/BtoB別のサブスクリプション事業者の
決済件数/事業者数の指数変化*1（表10）



出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*1 ROBOT PAYMENTのサブスクリプション事業者向けサービスを提供している顧客の内、明確にBtoC、BtoBを判別できる事業者に限定し集計

06. 決済件数／事業者数

■ "医療・介護" "食品・飲食店"の利用拡大が顕著

サブスクリプション事業者当たりの決済件数においては、各業種ごとの傾向が明らかになっています。

指数上位においては、直近のCOVID-19の影響により健康意識が高まった"医療・介護"や巣ごもり需要に伴うEC利用増、自粛規制緩和後のプチ贅沢の時流に伴う"食品・飲食店"の利用拡大が顕著となりました。

一方で、"教育・学習塾"や"スポーツ・フィットネス"など施設を要する装置産業型のビジネスはCOVID-19により生じた外出自粛等の生活様式の変化から利用が減少したことが推察され、縮小傾向になっているものと考えます。（表11）

サブスクリプション業種別決済件数／事業者の推移（表 11）

	業種分類 *	対 19 年比 22 年指数
指数 上位	募金・寄付	2.79
	各種レンタルサービス	2.45
	医療・介護	2.32
	食品・飲食店	2.31
指数 下位	会員サイト・情報サイト	0.96
	工具・機械類	0.89
	教育・学習塾	0.76
	スポーツ・フィットネス	0.73

出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*各業種分類の内訳は以下の通り

- ・募金・寄付：NPO・非営利団体、基金・募金、社会福祉法人、など
- ・各種レンタルサービス：Wi-Fiレンタル、レンタカー、ウォーターサーバーなど
- ・医療・介護：医療機関、介護施設、整体・整骨院など
- ・食品・飲食店：飲食店、テイクアウト専門食品販売、食品通信販売など
- ・会員サイト・情報サイト：ニュースサイト、ポータルサイト、オンラインサロン、情報誌など
- ・工具・機械類：家電、AV機器、住宅資材・家財、自動車用品など
- ・教育・学習塾：学習塾、語学教室、e-ラーニングスクール、学校法人など
- ・スポーツ・フィットネス：トレーニングジム、各種スポーツクラブなど

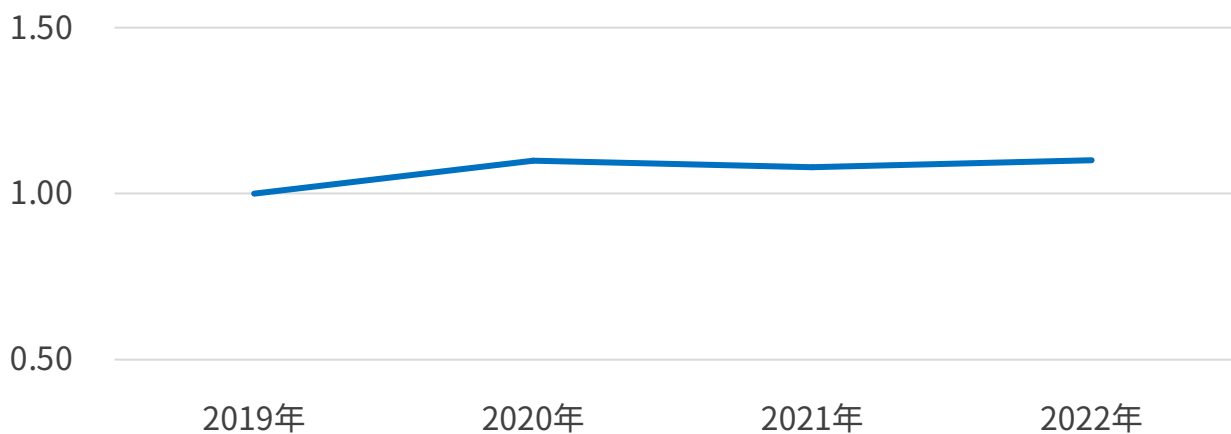
07. 売上高/決済件数

■ 1決済当たりの売上高はインフレ影響を受け緩やかな拡大傾向

サブスクリプション事業者全体での1決済当たり売上高は、緩やかな拡大傾向を示しています。これは金利上昇や原料高に伴う物価高騰による価格転嫁のトレンドを表しています。（表12）

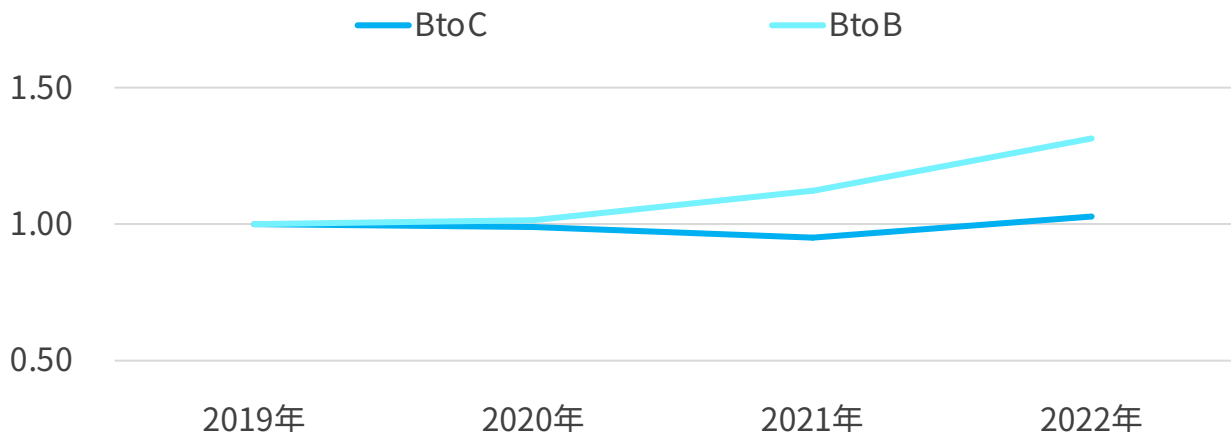
一方で、BtoC事業者とBtoB事業者で分けると傾向に差異が生じており、価格転嫁を行やすいBtoB事業者は上昇傾向であることに対し、価格転嫁が追い付かないBtoC事業者は2019年時点と同程度となっています。（表13）

サブスクリプション事業者の
売上高/決済件数の指数変化（表12）



出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

BtoC/BtoB別のサブスクリプション事業者の
売上高/決済件数の指数変化*1（表13）



出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*1 ROBOT PAYMENTのサブスクリプション事業者向けサービスを提供している顧客の内、明確にBtoC、BtoBを判別できる事業者
に限定し集計

07. 売上高/決済件数

■ 代行・仲介等の手数料ビジネスを中心に拡大

サブスクリプション事業者の1決済当たりの売上高では、特定のサービスにおいて指数を拡大しています。これは原料や仕入れに対する利益加算ではなく、付加価値ベースでの上昇の可能性を示唆しています。

"代行・仲介サービス"は、多くの事業者が手数料による収益形態をとっており、取引する商品やサービスの価格高騰が当該事業者の1決済当たり売上高の上昇へと繋がります。一方で、"生活用品"や"インテリア・家具"は1決済当たりの売上高が引き下げられており、従来以上に低価格な商材を提供する事業者が参入したことが想定されます。（表14）

サブスクリプション業種別売上高/決済件数の推移（表14）

業種分類 *		対19年比 22年指数
指数上位	代行・仲介サービス	3.77
	会員サイト・情報サイト	2.37
	医療・介護	1.75
	生活サービス	1.68
指数下位	アパレル	0.93
	募金・寄付	0.85
	生活用品	0.79
	インテリア・家具	0.67

出典：ROBOT PAYMENT顧客利用実績を基に作成

*各業種分類の内訳は以下の通り

- ・代行・仲介サービス：営業代行、業務代行、BPOなど
- ・会員サイト・情報サイト：ニュースサイト、ポータルサイト、オンラインサロン、情報誌など
- ・医療・介護：医療機関、介護施設、整体・整骨院など
- ・生活サービス：家事代行、クリーニング、冠婚葬祭、光回線など
- ・アパレル：服飾通販、衣装製作、洋服レンタルなど
- ・募金・寄付：NPO・非営利団体、基金・募金、社会福祉法人など
- ・生活用品：カトラリー、キッチン用品、文房具、掃除用具など
- ・インテリア・家具：ソファ、テーブル、ラック、他家具など

08. 政府の後押し

■ 強まるキャッシュレス決済の推奨

政府主導によるマイナンバーカードの導入は、キャッシュレス決済を後押しするものであり、サブスクリプションサービスを現金決済で提供している既存事業者をオンライン決済へと切り替える機会となっています。

総務省によるマイナポイント事業は、消費の活性化、生活の質の向上、マイナンバーカードの普及促進及び官民キャッシュレス決済基盤の構築を行うことを目的としている。スマートフォンやパソコン、所定の店舗等において、ポイント付与の対象とするキャッシュレス決済手段を選択する等の手続きを行うと、チャージ金額もしくは決済金額に対し、25%分のポイント（上限5,000円相当）が付与される。2022年1月からは、マイナポイント第2弾も開始され、今後、マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込み（7,500円相当付与）や公金受取口座の登録を行った場合（7,500円相当付与）にさらなるポイント付与も実施される予定である。

出典：一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2022」
<https://paymentsjapan.or.jp/wp-content/uploads/2022/08/roadmap2022.pdf>（2022年6月）

■ 行政サービスのサブスクリプション化

地方自治体を中心に行政サービスもサブスクリプション化する「ベーシックインフラ」構想が進められています。

行政側がキャッシュレス決済機能の提供を前提として、市民サービスをサブスクリプション化し、一括提供を目指しています。

例えば、香川県三豊市で公開されている「ベーシックインフラ」構想においては、“健康”“交通”“介護”をテーマとして掲げながら、住民生活データに基づいて最適化された、地域内移動サービスや健康プログラム等をサブスクリプション型の“共助サービス”により、行政主導で提供していくことが示唆されています。

直近では、中小企業で働く住民の30代～50代をメインに、住民のパーソナルデータを活用した健康増進のための予防・未病施策や、複数の通所介護事業者の送迎業務サービスを集約することによる乗合オンデマンド交通の実証等を実施しています。

出典：

日経クロステック

「行政サービスもサブスクへ、四国で始まる『ベーシックインフラ』構想とは」
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01651/122000032/>（2023年1月）

内閣官房「香川県三豊市」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai5/siryou6.pdf

09. 参考資料・算出手法

■ 04. 事業者数

当社顧客の年間実績を基に事業者数を算出しています。BtoC／BtoBの分類については、当社基準に基づき決済内容から各事業者を分類の上、個別集計を行っています。業種については、各事業者のWebサイトやデスクトップリサーチにより分類を行い、分類内容に基づきトランザクションが発生している事業者を対象に集計を行っています。

■ 05. 売上高／事業者数

当社顧客の年間の決済金額を集計することで、1事業者当たりの売上高を算出しています。BtoC／BtoBの分類については、当社基準に基づき決済内容から各事業者を分類の上、個別集計を行っています。業種については、各事業者のWebサイトやデスクトップリサーチにより分類を行い、分類内容に基づきトランザクションが発生している事業者を対象に集計を行っています。

■ 06. 決済件数／事業者数

当社顧客の年間のトランザクション件数を集計することで、1事業者当たりの売上高を算出しています。BtoC／BtoBの分類については、当社基準に基づき決済内容から各事業者を分類の上、個別集計を行っています。業種については、各事業者のWebサイトやデスクトップリサーチにより分類を行い、分類内容に基づきトランザクションが発生している事業者を対象に集計を行っています。

■ 07. 売上高／決済件数

当社顧客の年間の決済金額を、期間当たりのサービス利用トランザクション件数で除算することで、1件当たりの売上高を算出しています。BtoC／BtoBの分類については、当社基準に基づき決済内容から各事業者を分類の上、個別集計を行っています。業種については、各事業者のWebサイトやデスクトップリサーチにより分類を行い、分類内容に基づきトランザクションが発生している事業者を対象に集計を行っています。

09. 参考資料・算出手法

■ 表1：サブスクリプションサービス市場の推移

株式会社矢野経済研究所

「サブスクリプションサービス市場に関する調査を実施（2022年）」

https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2997

（参照2023年8月15日）

■ 表2：業種別市場規模の構成比

株式会社ICT総研

「サブスクリプションサービスの市場規模、2023年に1.4兆円にICT総研調査」

<https://subscription-mag.com/news/ictsouken/>

（参照2023年8月15日）

■ 表3：サブスクリプション事業者と全産業の事業者の事業者数の指数変化 表6：サブスクリプション事業者と全産業の売上高／事業者の指数変化

経済産業省「企業活動基本調査」

[https://www.e-stat.go.jp/stat-](https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00550100&tstat=000001010832&survey=%E4%BC%81%E6%A5%AD%E6%B4%BB%E5%8B%95%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E8%AA%BF%E6%9F%BB)

[search/files?page=1&toukei=00550100&tstat=000001010832&survey=%E4%BC%81%E6%A5%AD%E6%B4%BB%E5%8B%95%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E8%AA%BF%E6%9F%BB](https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00550100&tstat=000001010832&survey=%E4%BC%81%E6%A5%AD%E6%B4%BB%E5%8B%95%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E8%AA%BF%E6%9F%BB)

（参照2023年8月15日）

■ P. 13：強まるキャッシュレス決済の推奨

一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2022」

<https://paymentsjapan.or.jp/wp-content/uploads/2022/08/roadmap2022.pdf>

（参照2023年8月15日）

■ P. 13：行政サービスのサブスクリプション化

日経クロステック

「行政サービスもサブスクへ、四国で始まる『ベーシックインフラ』構想とは」

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/01651/122000032/>

（参照2023年8月15日）

内閣官房「香川県三豊市」

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai5/siryoku6.pdf

（参照2023年8月15日）

10. 資料の利用案内

■ サブスクレポートのご利用案内

本資料は、当社の許諾を得た上で、私的使用目的の複製または引用など、著作権法上認められている限度で利用いただけます。

引用時には、株式会社ROBOT PAYMENTの社名と以下のURLを記載してください。

社名：株式会社ROBOT PAYMENT

URL：<https://www.robotpayment.co.jp/>

発刊日：2023年8月23日

ご利用の際は、事前に窓口よりご連絡ください。

株式会社ROBOT PAYMENT 広報窓口：pr@robotpayment.co.jp

本資料に掲載されている著作物に関する著作権は、株式会社ROBOT PAYMENTに帰属しています。著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信等することはできません。

■ サブスクリプション事業者向け相談窓口

サブスクリプションビジネスをお考えの事業者の皆様へ、株式会社ROBOT PAYMENTはサブスク相談窓口を設置いたしました。新しいビジネスモデルを探求し、成果を最大限に引き出すお手伝いをさせていただきます。

サブスクリプションビジネスの導入や拡大に関する悩みや質問、戦略の策定に関するお手伝いが必要な場合、どうぞお気軽にご相談ください。皆様のビジネスを理解し、適切なアドバイスを提供いたします。

サブスク相談窓口へのお問い合わせ

<https://www.robotpayment.co.jp/service/inquiry/>

11. Appendix

■ サブスクするならロボペイで

ROBOT PAYMENTは、20年以上サブスクリプションに特化した決済サービスを提供しており、オンラインやオフライン、BtoBやBtoCを問わず、サブスクビジネスをこれから始める方、すでに始めていて課題を抱える方の「売上向上」と「バックオフィスのDX推進」に貢献します。

■ サブスク事業を支えるサービス一覧

自動継続課金システム「サブスクペイ」

サブスクの決済を自動化させたい企業向け。決済（クレジットカード決済・口座振替など）を毎月自動で処理し、代金回収の仕組み化を実現します。また顧客管理データベースを備えており、サブスクビジネスの立ち上げにも役立ちます。

<https://www.robotpayment.co.jp/service/payment/>



請求・債権管理クラウド「請求管理ロボ」

サブスクの請求業務を自動化させたい企業向け。請求書の自動発行・自動送付だけでなく、クレジットカード決済・口座振替・銀行振込を活用した代金回収、入金消込や催促の自動化を通して、毎月の請求業務を約80%削減します。

<https://www.robotpayment.co.jp/service/mikata/>



請求管理ロボ

企業間請求代行サービス「請求まるなげロボ」

請求を「まるなげ（ゼロに）」したい企業向け。法人間取引における、与信審査から、請求書の発行送付、集金、入金消込、催促まで、ROBOT PAYMENTが代行します。無駄な業務をまるなげし、売掛金保証もつくため、事業拡大に集中することが可能になります。

<https://www.robotpayment.co.jp/service/marunage/>



請求まるなげロボ

請求書カード払いサービス「1click後払い」

受け取った請求書をカードで支払いたい企業向け。銀行振込の請求書をカードで決済できるサービスです。お手持ちのカードを利用し、支払いを最大60日間延長することで、資金繰り改善や法人間決済のDXに貢献します。

https://www.robotpayment.co.jp/service/1click_atobarai/



1click後払い